

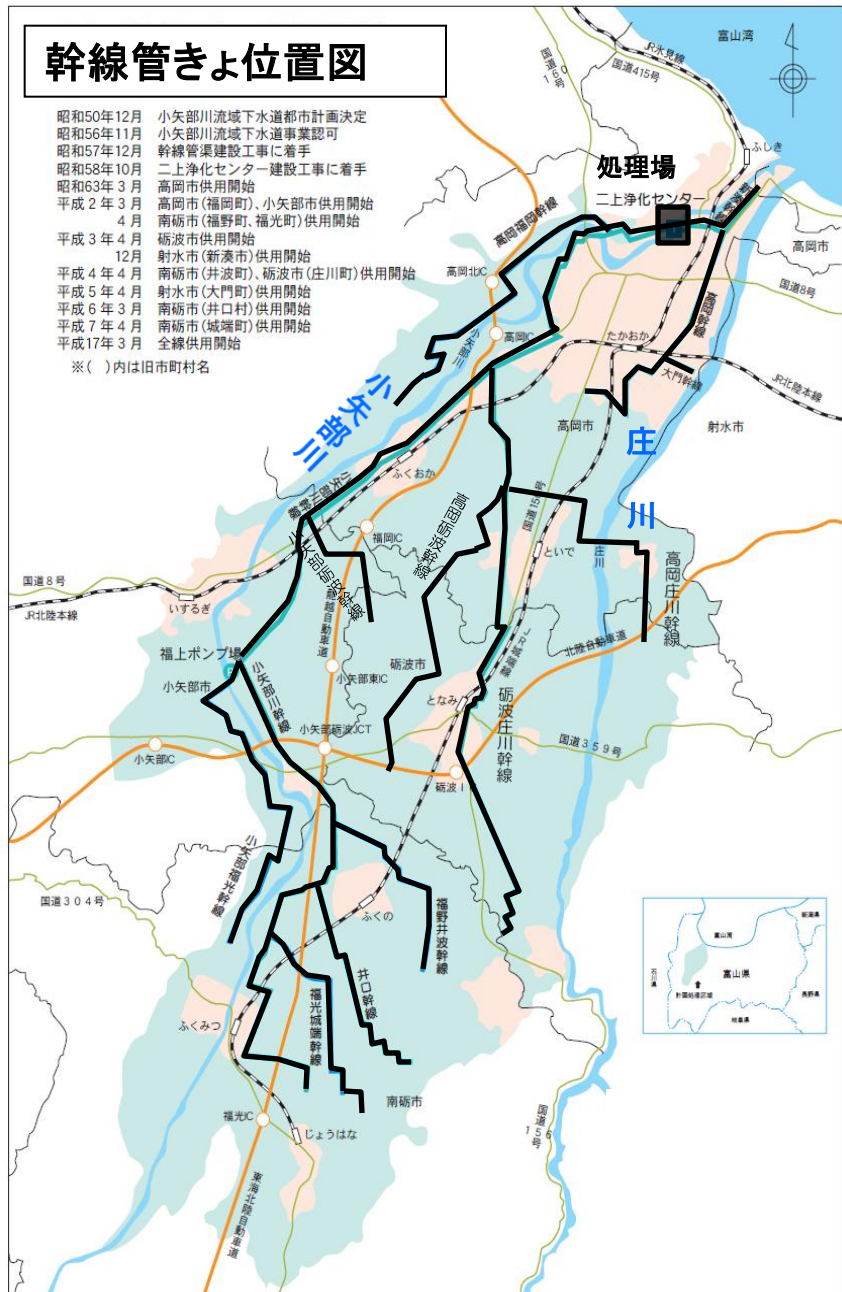
小矢部川流域下水道事業の概要

幹線管きょ位置図

昭和50年12月	小矢部川流域下水道都市計画決定
昭和56年11月	小矢部川流域下水道事業認可
昭和57年12月	幹線管渠建設工事に着手
昭和58年10月	2号浄化センター建設工事に着手
昭和63年3月	高岡市供用開始
平成2年3月	高岡市(福岡町)、小矢部市供用開始
4月	南砺市(菅野町、福光町)供用開始
平成3年4月	砺波市供用開始
12月	射水市(新湊市)供用開始
平成4年4月	南砺市(井波町)、砺波市(庄川町)供用開始
平成5年4月	射水市(大門町)供用開始
平成6年3月	南砺市(井口村)供用開始
平成7年4月	南砺市(城端町)供用開始
平成17年3月	全線供用開始

※()内は旧市町村名

※()内は旧市町村名



処理場平面図 二上浄化センター

凡 例

水処理施設

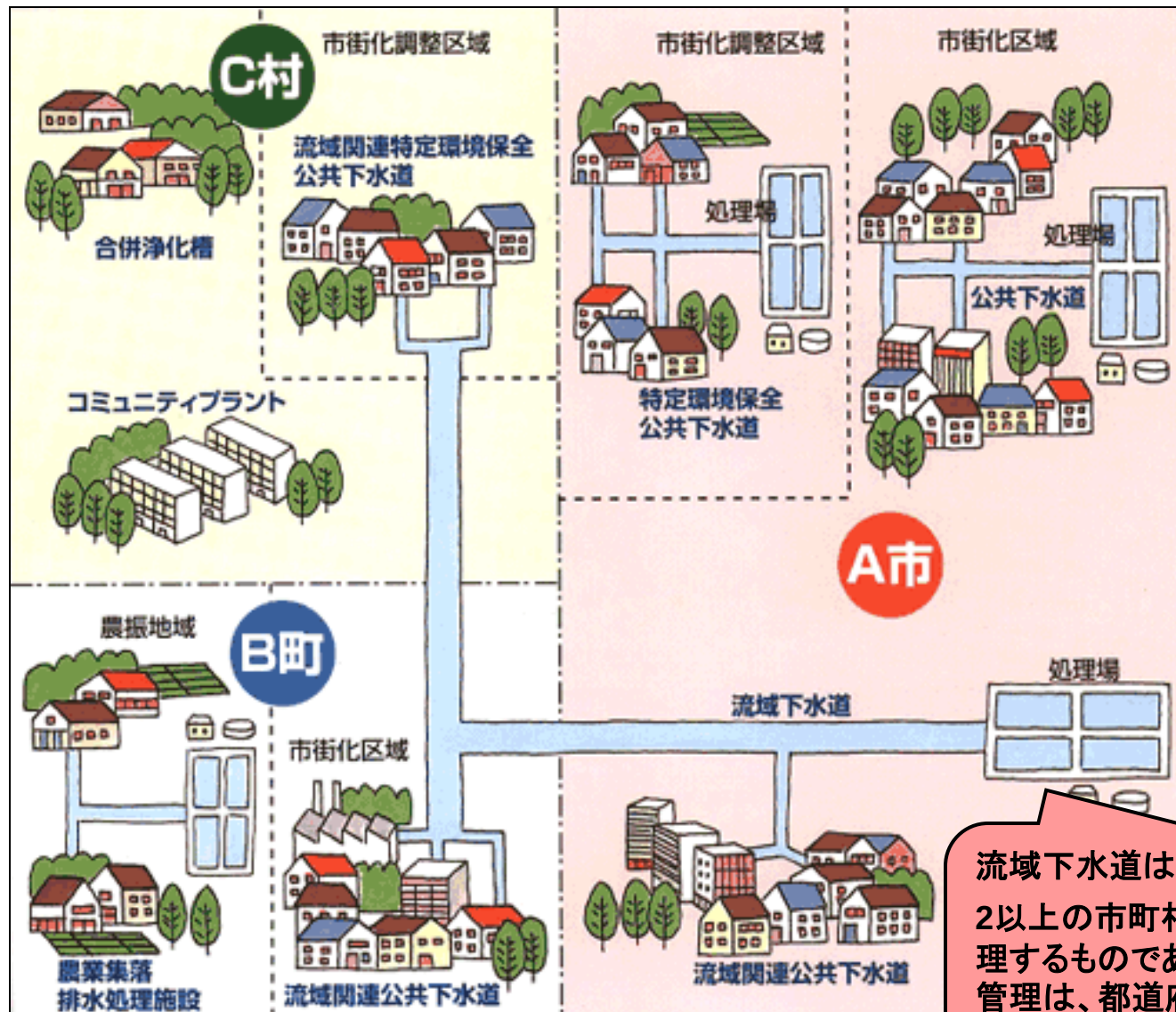
汚泥処理施設



■全体計画

- ・着手年度 昭和56年度
- ・関係市 高岡市 射水市 砺波市 小矢部市 南砺市
- ・計画処理区域面積 10,755ha
- ・計画処理人口 258,900人
- ・計画下水量 189,400m³/日
- ・幹線管きょ延長 149km
- ・水処理施設 8系列
- ・事業費 110,000百万円

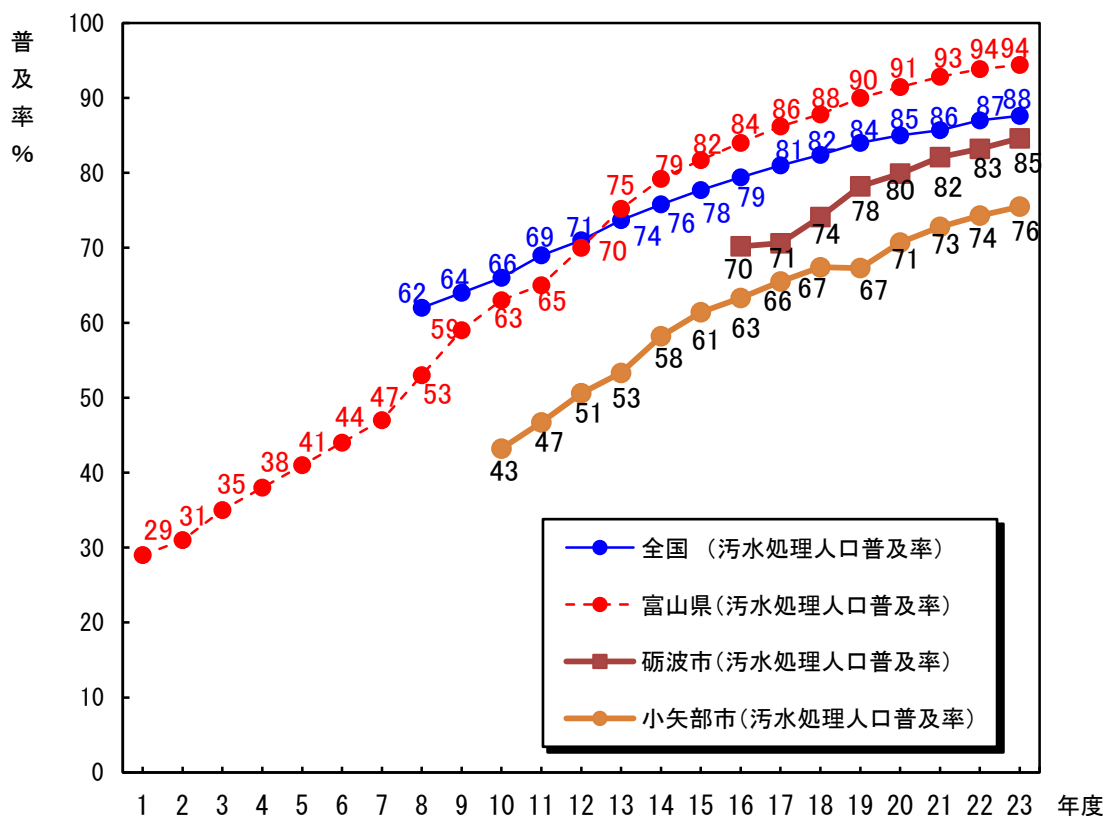
小矢部川流域下水道 事業の必要性



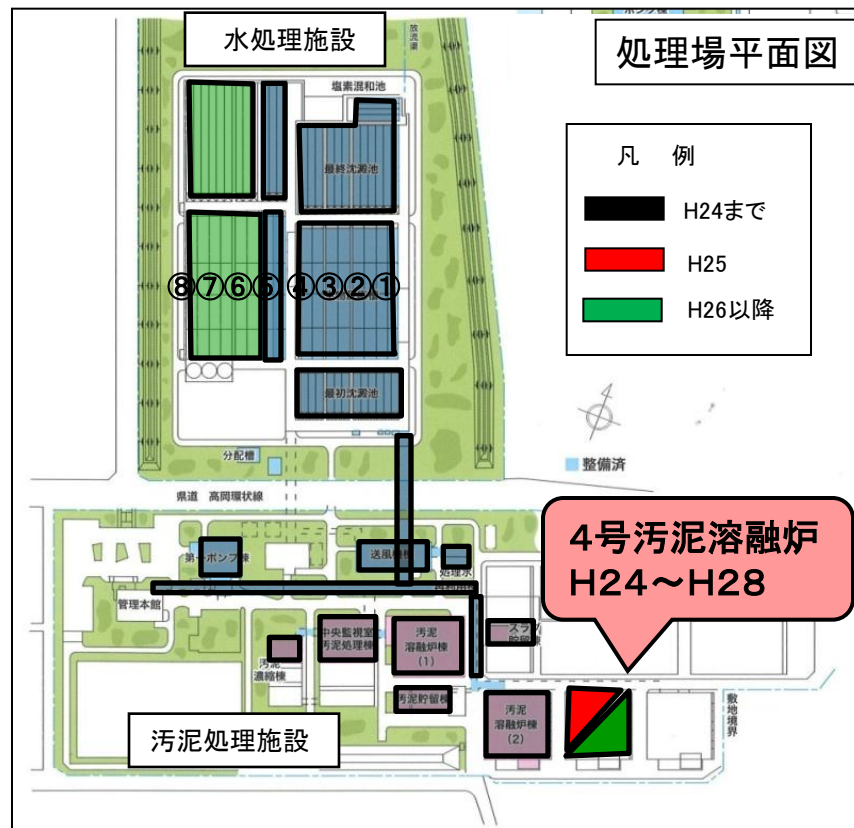
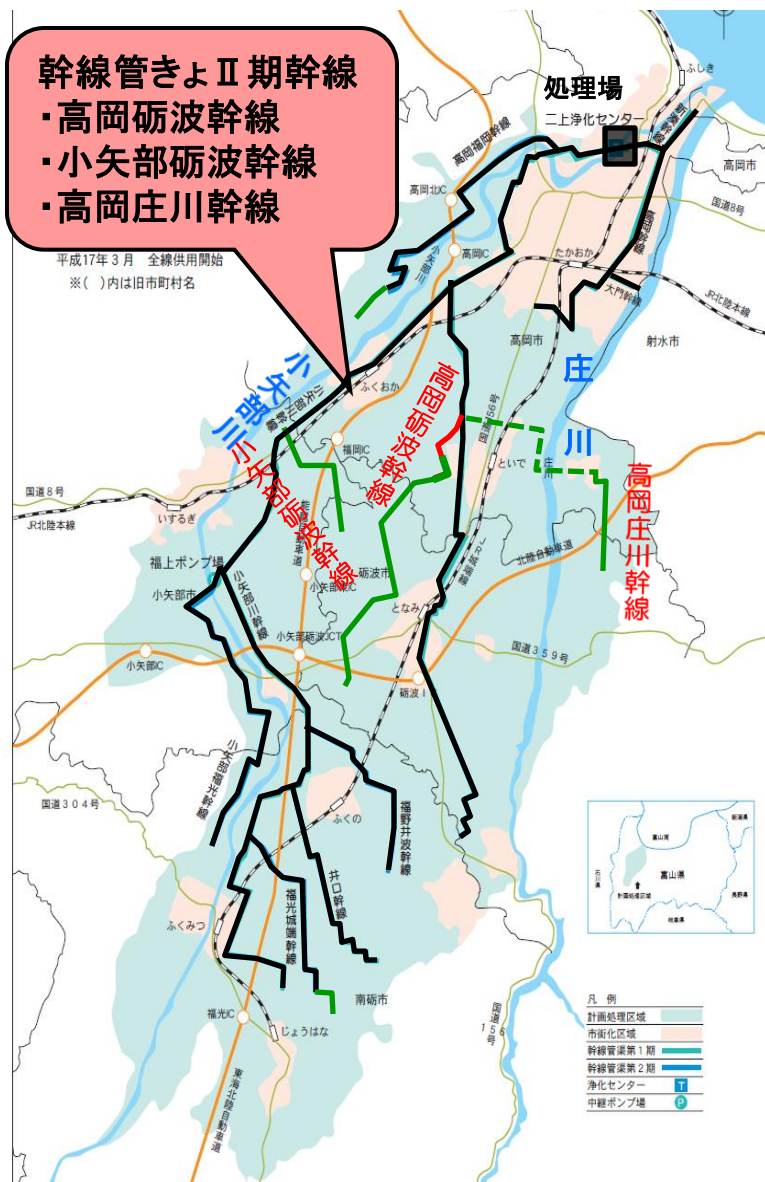
流域下水道は、
2以上の市町村の下水を集めて処理するものであり、下水道の設置・管理は、都道府県が行うもの。

小矢部川流域下水道 社会経済情勢の変化

指 標 名	単位	事業着手時	今回評価時	備考
污水处理人口普及率(富山県)	%	22.7 (S62)	94.4 (H23)	増 加
污水处理人口普及率 (全 国)	%	62.0 (H 8)	87.6 (H23)	増 加
污水处理人口普及率 (砺波市)	%	70.0 (H16)	84.6 (H23)	増 加
污水处理人口普及率(小矢部市)	%	43.0 (H10)	75.5 (H23)	増 加



小矢部川流域下水道 進捗状況



主な工種 (全体事業量)		H25までの進捗率	
		事業量 ベース	事業費 ベース
水処理施設 (8系列)	5系列 3系列	62.5%	73.5%
幹線管きよ (Ⅰ期 81km)	81km	100.0%	100.0%
幹線管きよ (Ⅱ期 68km)	40km 1km 27km	60.3%	80.9%

コスト縮減や代替案立案等の可能性

①H23 計画見直し
〔計画処理人口の減
計画処理水量の減〕



水処理施設の系列数を
12系列→8系列へ縮小

②汚泥溶融施設の
長寿命化対策を実施

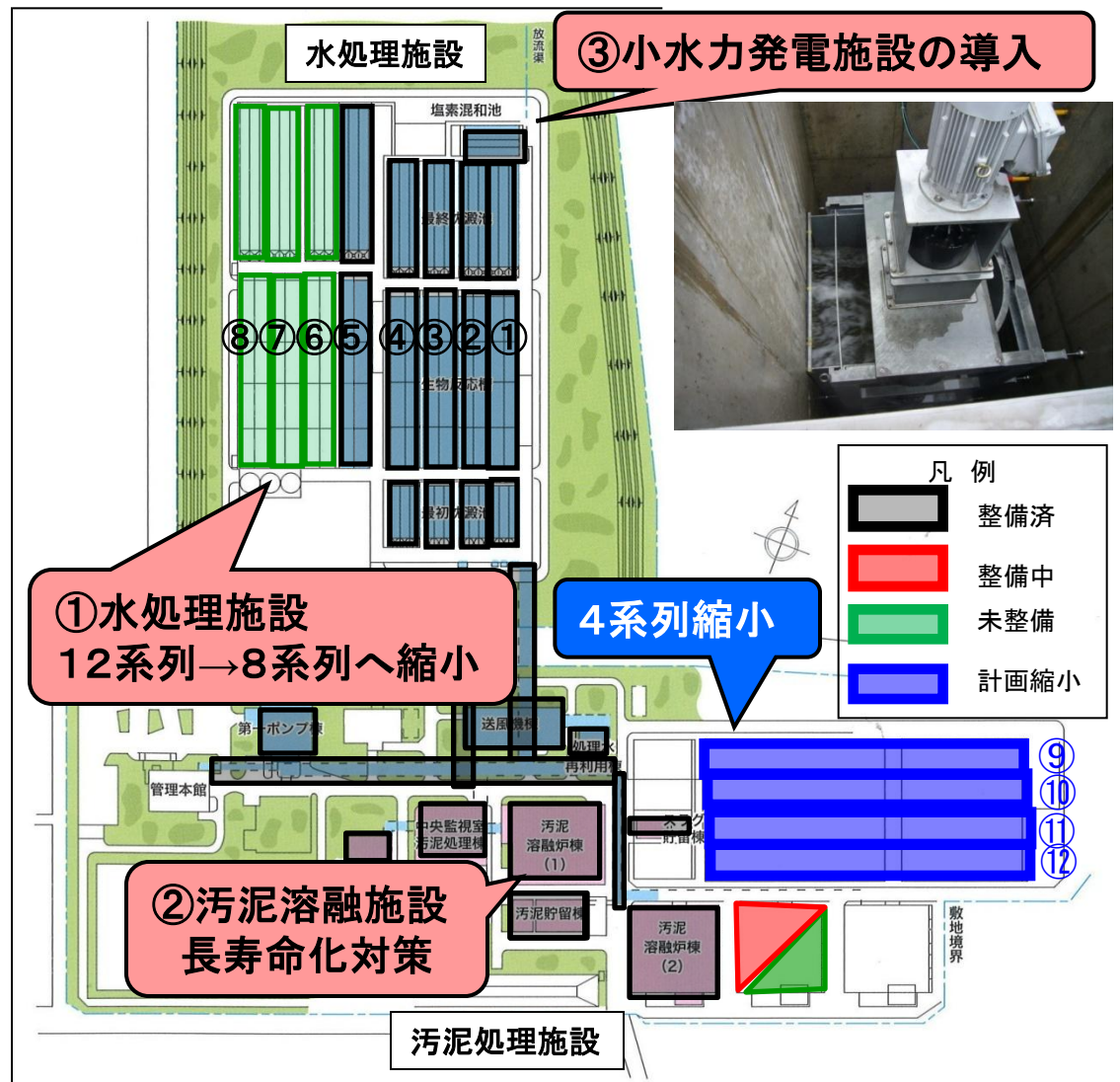


ライフサイクルコストの縮減

③小水力発電の導入(北陸初)



処理場内の使用電力量の縮減



小矢部川流域下水道

今後の事業の見通し

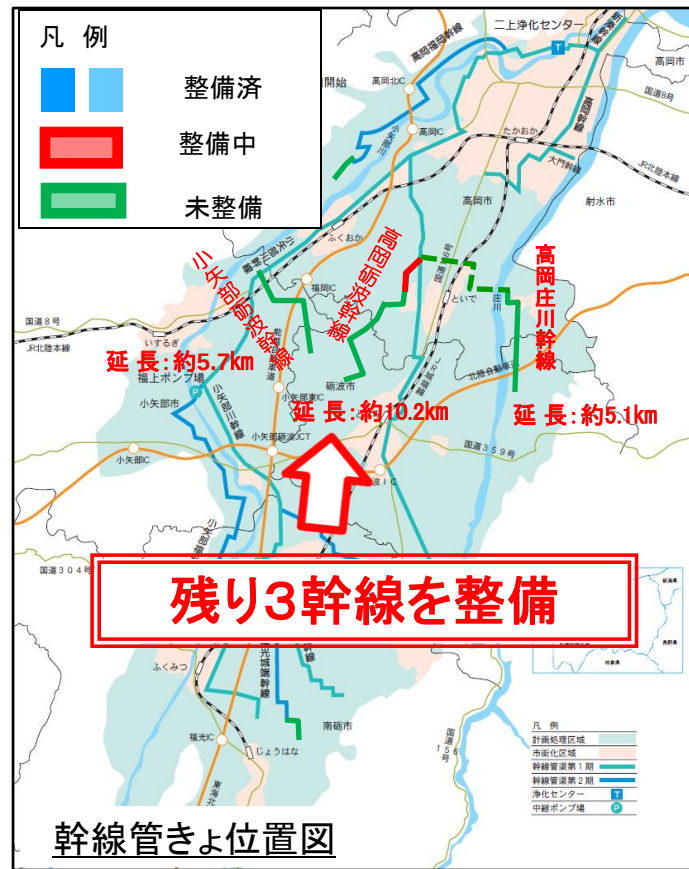
○処理場

関係5市からの流入水量の増加に合わせて水処理施設、污泥処理施設を整備



○幹線管きよ

未普及地域を解消するため、高岡砺波幹線、小矢部砺波幹線、高岡庄川幹線を整備



現計画で事業継続